事務事業評価シート

評価実施年度： 平成２８年度

上位の施策名称	施策Ⅰ－１－１ 企業の競争力強化

1.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	産業振興課長　馬庭　正人	電話番号	0852-22-5291

事務事業の名称		しまね海外ビジネス展開支援事業
目的	（1）対象	海外展開を図ろうとする機械金属加工産業・電気電子産業を中心とする県内中小ものづくり企業
	（2）意図	成長著しい海外市場の取り込みによる県内雇用の維持・拡大
事業概要		拡大する海外市場の需要取り込みを通じた県内産業の活性化を目指し、県内ものづくり企業を中心とした海外展開の検討段階から、進出後の事業運営段階までの一連の活動を支援 ・意識醸成：企業経営層を対象としたセミナー開催、勉強会の開催およびミッション団の派遣 ・進出支援：海外展示会出展、進出計画策定、人材確保育成への助成、海外展開資金の融資（H26創設） ・現地支援：「島根・ビジネスサポート・オフィス」の開設・運営（H26.9開設）

2.成果参考指標

成果参考指標名等			年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	海外展開を行う企業数	目標値		10.0	10.0	10.0	10.0	社
			取組目標値						
	式・定義	海外展開に関する各種補助金の採択企業数	実績値	8.0					
			達成率	－	－	－	－	－	%
2	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	－	－	－	－	－	%

3.事業費

	前年度実績	今年度計画
事　業　費（b）（千円）	41,739	80,000
うち一般財源（千円）	41,739	46,360

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）

5.評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

県内中小企業のグローバル化への対応は、最近数年間に進みつつあり、関心も高まっている。
一方で、実際に海外展開までに至る企業は数社にとどまっている。
《参考》
・平成26年（暦年）海外直接投資件数：27社39件（前年26社39件、前々年32社39件）【島根県貿易概況調査報告書】
・〃　　外国企業提携件数：40社78件（前年36社81件、前々年40社93件）【　　〃　　】
・グローバル研究会※参加企業数：81社 H27年度末【発足時46社】 ※海外展開に興味・関心の高い企業で構成する勉強会
・中小ものづくり企業の海外展開状況：H27年：1社（タイ）、H26年：2社（タイ、ベトナム）、H24年：2社（タイ・インドネシア）、H23年：1社（タイ）

6.成果があったこと（改善されたこと）

島根・ビジネスサポート・オフィス（H26.9月開設）により、年間を通じてタイ現地での企業支援活動が円滑に実施できた。

・島根・ビジネスサポート・オフィス
　窓口業務および支援業務件数
　　98 件　（H26：72件）
　利用企業数
　　34社・団体（H26：28社・団体）

・計画策定助成を活用したものづくり企業の海外進出
　1社（H26：1社）

7.まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

県内中小ものづくり企業にとって、海外への投資リスクは国内の場合よりも高い。
また、海外進出企業の現地での円滑な事業運営にも一定の期間が必要。

②困っている状況が発生している「原因」

新興国などの経済情勢、市場ニーズ等の情報収集が困難
海外進出を行うに当たっての取引先や人材の確保、資金調達が困難
現地での事業運営に際しても取引先の開拓、人材確保・育成、法務労務など日本の環境と異なる点が多い。

③原因を解消するための「課題」

新興国など海外の経済情勢等の情報収集と、効果的な情報提供を行う必要がある。
海外展開に係る諸問題への相談窓口確保と、課題に応じた専門家によるアドバイスを行う必要がある。
現地取引先の効果的な情報提供や、商談機会の確保を行う必要がある。
海外進出企業に対する現地での支援強化を行う必要がある。

8．今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

県内企業の海外展開の検討から、計画策定、進出、進出後の事業運営まで、県内企業一社一社の状況に応じてきめ細かく支援を行う。
ジェトロ、金融機関、商工団体等との一層の情報共有・連携を図る。
進出企業に対しては「島根・ビジネスサポート・オフィス」による現地での定期状況把握、課題に応じた迅速な対応を行うことにより、事業運営の円滑化を促進する。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9．追加評価（任意記載）

更新日： 2016/12/14 16:07